

2012. 01. 07.

ご支援下さったみな様へ

お父さんたちのネットワーク
石垣政裕

支援のご報告24

ーバレーボールの盛んな小学校へユニホームを届けたことー

昨年の11月でした。香川の陶（すえ）おやじの会から「中学校のバザーで1チーム分のユニホームが出されたが、必要なところがありますか」という連絡がありました。私たちのおやじメーリングリストで知らせたところ、震災後も気仙沼の子どもたちなどにバレーボールを指導に行っている佐々木憲枝さんから、自分が指導している気仙沼市立小泉小学校のPTAに届けたいとの連絡がありました。

年末に香川県綾歌郡綾川町にある綾上中学校PTAからユニホームが届きました。立派なユニホームです。ほんとうにまだまだ使えます。

開けて1月7日、気仙沼まで行くという友人をバイパスと東浜街道の交わるところで下ろし、更に南下して小泉地区まで車を走らせました。この辺りはきれいな浜が続いているところで途中、潮を吹き上げる岩井崎などもあります。



気仙沼線の橋梁

大谷海岸などはほんとうに宝のような海でした。美しい海岸はほとんどが津波の被害が大きかったところで、小泉地区も小学校と中学校などが集中する高台から見下ろすと、ほとんど壊滅的な被害であることがわかります。新しい住宅地であればあるほど、整然とした町並みがそのまま消えて無くなっています。気仙沼線の線路がぐんにやりと曲がっています。新しく作られた橋もなくなってしまいました。



活用してもらえるかな

小学校には佐々木さんと須藤さんがいらっしゃって、私たちはPTA会長さんと学校の主任の先生に案内されて、校舎を見せていただきました。広い空間と間仕切りを排除した学校の設計は贅沢に作られています。これからの学校はみんなそうなるのでしょうか。

バレーボールチームが全国大会に出たときの写真やポスターが壁に貼ってあります。この小泉地区は地区としてバレーボールが盛んで、中学校は本吉地区ではほとんど上位。高校に行っても古川学園など県内の屈指の強豪校へ進学する生徒も多いということです。したがってPTAのバレーボール熱も盛なのだそうです。この津波でユニホームが流されて、大会をどうしようかということことでした。ユニホームを手渡すと「やる気が出てくると思う」とPTA会長さん。そう言っていただくと、ここまできたことなど吹っ飛んでしまいます。「必要なところへ必要な物を」それができている気がしています。



学校から見下ろすかつての住宅地区

綾上中学校PTAのみなさま心より感謝申し上げます。